



TB6642FTG評価基板説明書

2016年6月13日

Re v.1.0



【概要】

TB6642FTGは、ダイレクトPWM制御方式に対応した、ブラシDCモータドライバです。BiCDプロセスを採用し、出力耐圧50V、最大定格電流4.5A(電源電圧(VM)≤36V時)を実現しています。電源電圧(VM)>36V時は、最大定格電流を4.0Aとしてご使用ください。

本評価ボードではIC評価をするための部品を実装しており、ダイレクトPWM駆動にて、ブラシDCモータを制御することが可能です。

TB6642FTGを使ったブラシDCモータの制御性を是非、体感してみて下さい。

【注】

使用に当たっては熱的条件に十分注意してください。

また、各制御信号について、下記URLのICの仕様書をご参考にしてください。

<http://toshiba.semicon-storage.com/info/lookup.jsp?pid=TB6642FTG®ion=jp&lang=ja>

なお、この評価ボードの用途はモーター制御の評価・学習用に限ります。市場に対しての出荷はなさらないようお願い申し上げます

評価基板の接続方法1 【ダイレクトPWM制御時】

シルク名称—信号名称対応表

シリーズ製品と共有基板となっている為、
基板上のシルク名称と信号名が異なります。
ご注意願います。

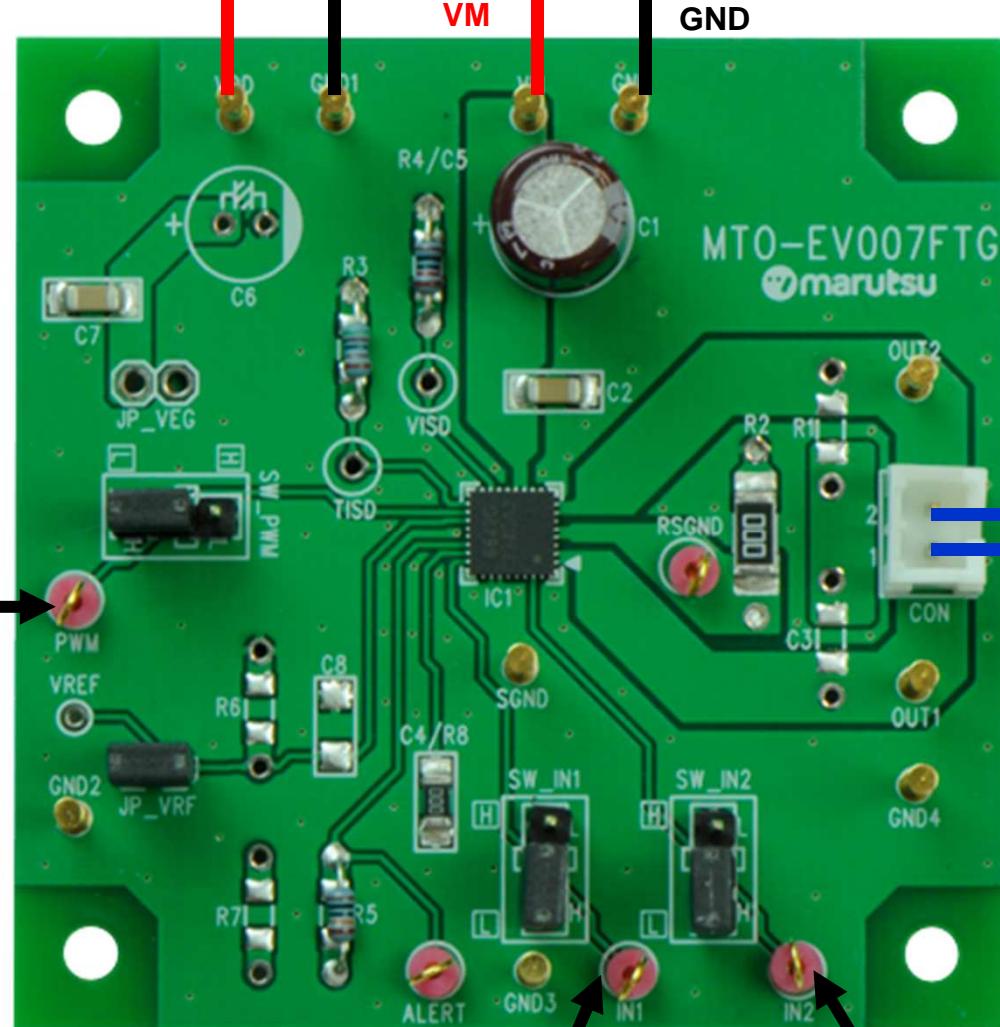
シルク名称	信号名
VREF	NC

※基板上のスイッチ使用
時に供給してください



基板用電源:VDD
(3.0V~5.5V)

モータ用電源:VM
(10V~47V)



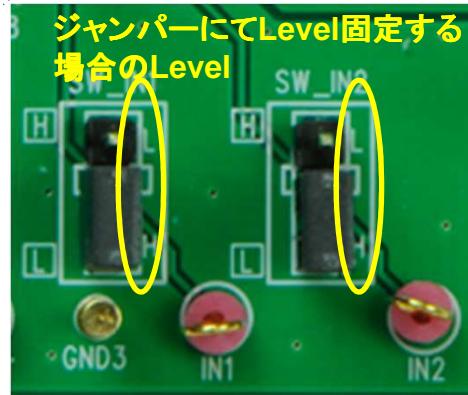
モータ制御信号入力

評価基板の設定

モータの動作設定



【ジャンパー部拡大】



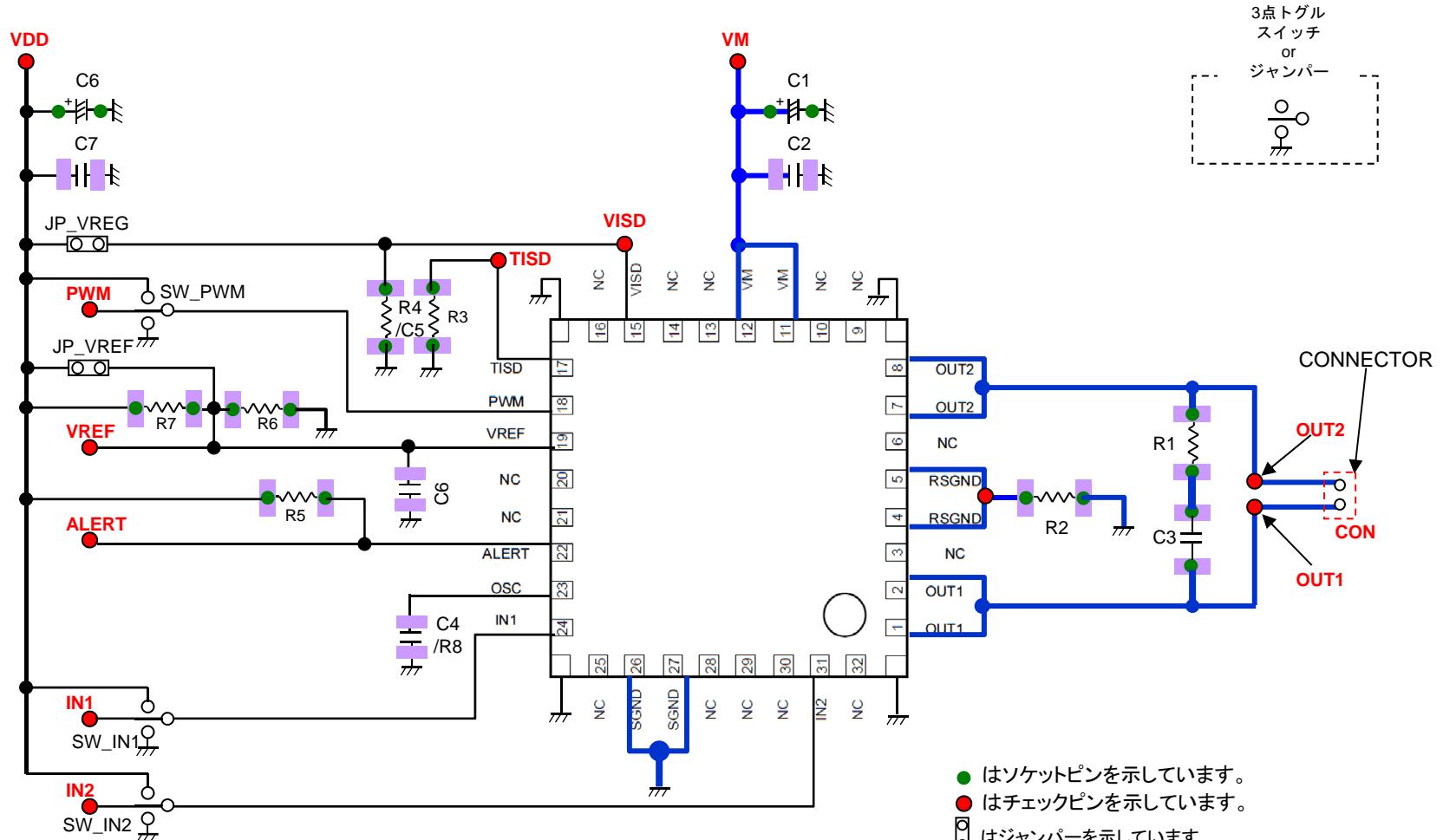
本評価基板には、TB6642FTGの動作設定を行うための、左図の様なジャンパーを設けております。

ジャンパーにて機能を選択する場合は、VDD端子からHigh Levelの供給を行ってください。

ジャンパーに近い、白枠内のシルクが固定されるLevelを示しています。使用する機能設定に従い、ショートさせる位置を変更して下さい。

また、外部から信号を入力される場合は、ショートピンを外してご使用ください。

評価基板回路図



- はソケットピンを示しています。
- はチェックピンを示しています。
- はジャンパーを示しています。
- は半田ランド＋スルーホールを示しています。
(面実装部品用のランドに、スルーホールを空けたもの
をご用意いただきたく。)
- は半田ランドを示しています。



販売元



<http://www.marutsu.co.jp/>

マルツエレック株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-2-2
セイキ第一ビル7F

Tel:(03)6803-0209 FAX:(03)6806-0213

仙台上杉店・秋葉原本店・秋葉原2号店・静岡八幡店・浜松高林店・名古屋小田井店
金沢西インター店・福井二の宮店・福井敦賀店・京都寺町店・大阪日本橋店・博多呉服町店